三陸復興国立公園（宮古市）のゼロカーボンパーク登録

※令和６年６月９日時点

１．三陸復興国立公園内の自治体では初めての登録となる宮古市

○東日本大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するため、平成25年５月に創設された三陸復興国立公園には、代表的な景勝地の一つとして宮古市の「浄土ヶ浜」があります。
○鋭くとがった白い岩が立ち並び、ひとつひとつ違った表情を見せて海岸を彩ります。松の緑と岩肌の白、海の群青とのコントラストは、見るものに感動を与えます。また、海水浴場としても「日本の快水浴場百選」にも選定されています。
○宮古市は、令和２年11月に「ゼロカーボンシティ」を表明、令和４年11月に「脱炭素先行地域」に選定されています。

▲浄土ヶ浜

２．宮古市でのゼロカーボンパークの取組

①サステナブルな観光地づくりの推進

◆浄土ヶ浜の宿泊事業者は、宿泊施設で「カーボンニュートラルＬＰガス」を使用
◆国立公園内の宿泊事業者は、宿泊者のアメニティグッズを、環境に配慮した商品に変更予定
◆宮古駅前観光案内所において、e－bikeのレンタサイクル実施中

▲カーボンニュートラルLPガス証明書授与式

②国立公園内の拠点施設等における普及啓発

◆浄土ヶ浜ビジターセンターや国立公園内の宿泊施設等において、観光客やみちのく潮風トレイルの利用者に対して、プラスチックゴミの削減を目的に、エコバックやマイボトル等を販売、その利用を推奨
◆浄土ヶ浜の宿泊事業者は、宿泊者へのプランとして、宿泊＋カーシェアリングのセットを案内、また、レストランでの食品ロスの削減や食材の地産地消などを表記する等、「SDGs」への取り組みを啓発

▲オリジナルマイバックやマグカップ▼

三陸復興国立公園（宮古市）のゼロカーボンパーク登録

※令和６年６月９日時点

③脱炭素に向けた省エネ化及び再エネ導入の推進

◆宮古市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の基本方針として「公共施設の最大限の省エネ化及び再エネ導入」を位置づけ、自然公園施設についても省エネ化を推進
◆脱炭素先行地域計画において、住宅や事業所への太陽光発電及び蓄電池導入の支援を位置づける等、エリア全体で省エネ化及び再エネ導入を推進
◆薪ストーブや薪ボイラーなど木質バイオマスの熱利用

④三陸ジオパークを活用した環境保全意識の向上

◆宮古市の森・川・海の恩恵と脅威、それらとの共生の歴史を後世に伝えると共に、自然環境の保全及び利活用を促進
◆地域住民等にジオパークに広く親しんでもらうため、各種イベントの実施及びエコツーリズムの企画
◆サイト保全のための清掃活動を通じた環境保全意識の向上

▲ 浄土ヶ浜クリーン作戦 ▲

⑤サステナブルな交通の実現

◆浄土ヶ浜では、一部区間で繁忙期に排ガス抑制等を目的に、一般車両の進入を制限
◆同区間を含むエリアでは電気バスを周遊運行し、交通についても自然環境の保全に配慮
◆グリーンスローモビリティ（グリスロ）の実証
◆脱炭素先行地域計画において、電気自動車及び充放電設備の導入支援を位置づける等、エリア全体で自動車の電化を推進

▲浄土ヶ浜を周遊する電気バス

３．環境省における対応

〇東北地方環境事務所による伴走支援を進め、宮古市の地域脱炭素化等の取り組みを後押し